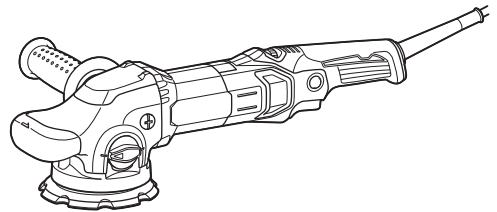


Makita

取扱説明書

125mm ランダムオービット ポリリッシャ

☐ モデル PO5000C



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはランダムオービットポリリッシャをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次




・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ ポリッシャ安全上のご注意	8
・ 各部の名称および標準付属品	10
・ 別販売品のご紹介	11
・ ご使用前の準備	12
・ 六角棒スパナの収納	12
・ パッドの取り付け・取りはずし方	12
・ サイドグリップの取り付け・取りはずし方	13
・ 使い方	14
・ スイッチの操作	14
・ スピードの調整	15
・ モードの切り替え	16
・ 強制回転駆動モード	16
・ フリー回転駆動モード	16
・ 作業方法	17
・ 表面仕上げ作業	17
・ ワックスがけ作業	17
・ ワックス落とし作業	17
・ つや出し作業（ガラスなど）	17
・ 別販売品の使い方	18
・ 各種パッドの取り付け・取りはずし方	18
・ 保守・点検について	19
・ ダストカバーの清掃	19
・ 本機のお手入れ	19
・ ご修理の際は	19

主要機能

主要機能	モデル	P05000C
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		9.5 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		900 W
オービタル数		0 ~ 6,800 min ⁻¹ (回転 / 分)
外径寸法 (標準パッド)		123 mm
本機寸法 (長さ×幅×高さ)		451 mm × 123 mm × 134 mm
質量		2.8 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - 発火や爆発の原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - 感電する恐れがあります。
5. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
6. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
7. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

⚠ 警告

3. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
4. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
5. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
6. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業

電動工具の手入れ

1. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
2. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
3. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感ずる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

5. 使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるよう所々に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ポリッシャ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ポリッシャとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB144-2

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. 本機で砥石を使用した研削や切断、またワイヤブラシを使用した研磨などの作業を行わないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
3. 指定のパッド類以外は使用しないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
4. 作業前にパッド類に破れ、過剰な摩耗などの異常がないことを確認してから使用してください。また、落とした場合は損傷がないか点検するとともに、最高無負荷回転数で1分間ほど運転して異常がないか確認してください。
 - ・ 異常があると、事故やけがの原因になります。
5. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、必要に応じて保護メガネ、防じんマスク、耳栓（イヤマフ）などを使用してください。
6. 作業場所に第三者を近づけないでください。必要な場合は安全防護具を使用させてください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
7. パッド類を配線や本機の電源コードに接触させないでください。また、絶縁された部分だけで保持してください。
 - ・ 損傷した配線や電源コードは感電の原因になります。
8. 電源コードはパッド類から離してください。
 - ・ 電源コードの破損、また電源コードが絡まって手や腕などを巻き込み、事故やけがの原因になります。
9. パッド類の回転が完全に停止するまでは置かないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
10. 本機を身体の横で運転しないでください。
 - ・ 衣類が引っかかり身体を引き込むなど、事故やけがの原因になります。
11. ダストカバーは定期的に取りはずし、空気取り入れ口とともに清掃してください。
 - ・ 溜まった粉じんやゴミが故障の原因になります。
12. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
13. 冷却液が必要なパッド類を使用しないでください。
 - ・ 水や冷却液が感電の原因になります。

⚠ 警告

14. パッド類がはさまったり、引っかかったりすると強い反発力（キックバック）が生じることがあります。キックバックはけがの原因になるため、下記の項目を守ってください。
 - 本機をしっかり保持し、不意のキックバックに備えてください。
 - 補助ハンドルが付属している場合は、必ず取り付けてください。
 - パッド類の近くに手を置かないでください。
 - 本機が進む領域に身体を置かないでください。
 - コーナーや鋭い角の作業時はキックバックが生じやすいため注意してください。
15. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、本機が振られ、けがの原因になります。
16. 作業面は確実に固定してください。
 - 不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
17. 本機を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - 不意の接触などで、けがの原因になります。
18. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。
19. 作業面に、砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - 事故の原因になります。

⚠ 注意

1. パッド類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. スイッチを切った後も、惰性で回転しているパッド類に注意してください。
 - 手などが触れると、けがの原因になります。
3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - 本機などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 使用中は、本機の底面に手など身体を近づけないでください。
 - パッド類に触れ、けがの原因になります。

注

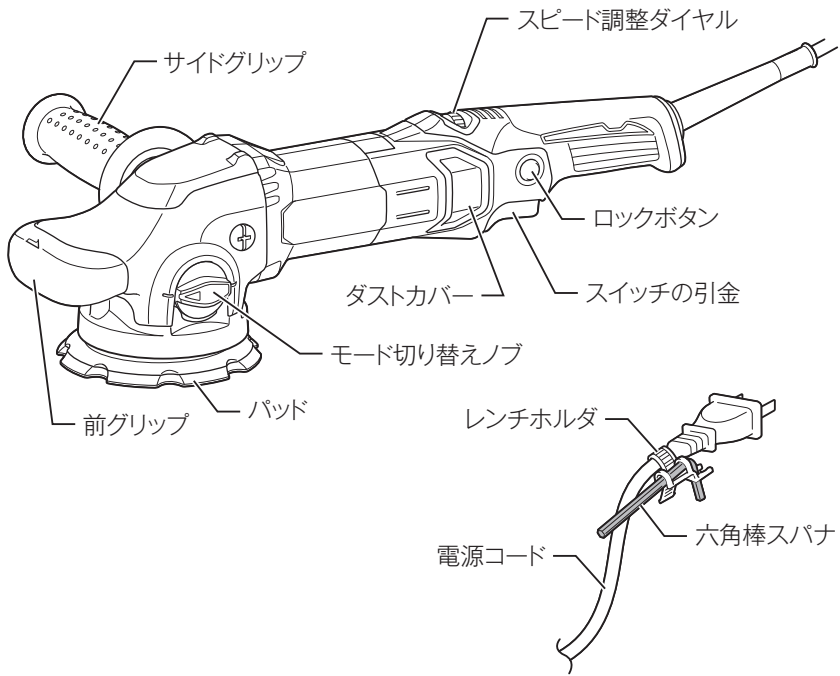
- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ パッド
- ・ 六角棒スパナ
- ・ サイドグリップ

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ パッド 100
部品番号 A-60800
- ・ パッド 125
部品番号 A-60791
- ・ パッド 150
部品番号 A-60816
- ・ スポンジパッド 100 (パッド 100 用)
部品番号 A-60333
- ・ スポンジパッド 125 (パッド 125 用)
部品番号 A-30972
- ・ スポンジパッド 150 (パッド 150 用)
部品番号 A-60349
- ・ フェルトパッド 100 (パッド 100 用)
部品番号 A-60763
- ・ フェルトパッド 125 (パッド 125 用)
部品番号 A-54651
- ・ フェルトパッド 150 (パッド 150 用)
部品番号 A-60159
- ・ ウールパッド 100 (パッド 100 用)
部品番号 A-60779
- ・ ウールパッド 125 (パッド 125 用)
部品番号 A-60785
- ・ ウールパッド 150 (パッド 150 用)
部品番号 A-67882
- ・ サイドグリップ
部品番号 198045-1

ご使用前の準備

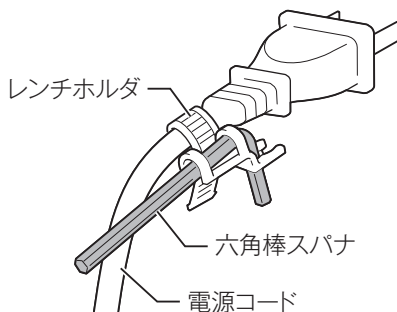
六角棒スパナの収納

⚠ 警告

六角棒スパナやレンチホルダの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ 六角棒スパナを使用しないときは、レンチホルダに収納することで紛失を防ぎます。



パッドの取り付け・取りはずし方

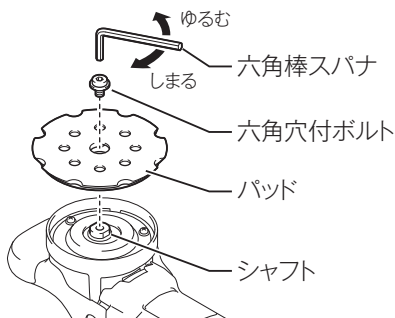
⚠ 警告

パッドの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

1. パッドの取り付け穴とシャフトの先端形状を合わせて取り付けます。
2. 六角棒スパナで六角穴付ボルトを締め付け、しっかりと固定します。



取りはずし方

- ・ 取り付け方と逆の手順で取りはずします。

注

- ・ パッドの締め付けが不十分な場合、ゆるんではずれる恐れがあります。

ご使用前の準備

サイドグリップの取り付け・取りはずし方

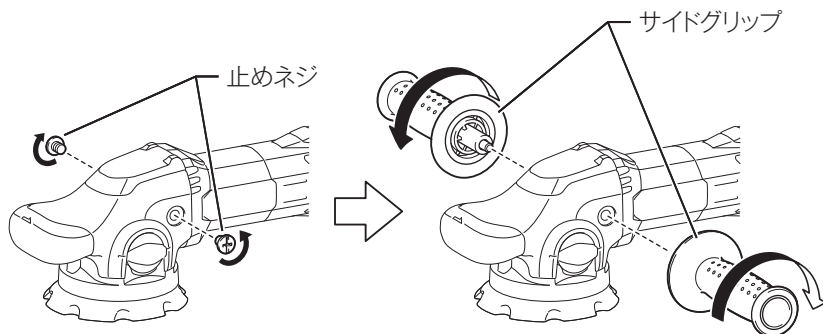
⚠ 警告

サイドグリップの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。
- ・ サイドグリップは、図のように本機の2か所に取り付けが可能です。作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。

取り付け方

1. サイドグリップの取り付け穴から止めネジをはずします。
2. サイドグリップを矢印方向に回して、しっかりと締め付けます。



取りはずし方

- ・ 取り付け方と逆の手順で取りはずします。

注

- ・ サイドグリップを使用しないときは、止めネジを取り付けてください。

使い方

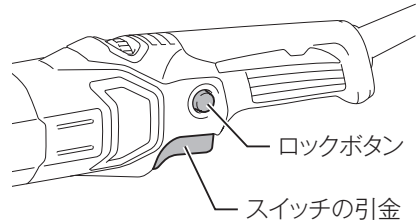
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま、電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因となります。

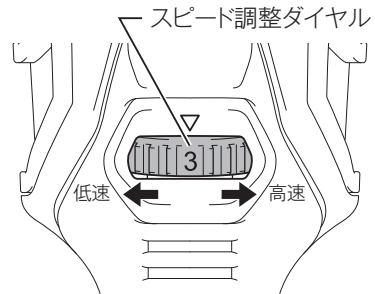
- ・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチは引金の引き加減によりお望みの回転数が得られます。
- ・ スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を放しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止するときには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を放します。



使い方

スピードの調整

- ・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、スイッチの引金をいっぱいに引いたときの回転数を無段階に調整できます。
- ・ ダイヤル表示は1～5まであり、数字が大きくなるに従って回転数は高くなります。



- ・ ダイヤル1～5の数値間の回転数（目安）は次のとおりです。

スピード調整ダイヤルの数値	1	～	2	～	3	～	4	～	5
回転数 min^{-1} (回転/分)	1,600	～	2,500	～	3,700	～	5,300	～	6,800

注

- ・ 低回転で長い時間の連続作業を行いますと、モータに無理がかかり焼損の原因になります。
- ・ スピード調整ダイヤルは1より下には回りません。また5より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは、必ず「1 → 2 → 3 → 4 → 5、5 → 4 → 3 → 2 → 1」の範囲で回してください。

スピード調整ダイヤル付モデルには下記のような特性があり、扱いやすくなっています。

- ・ 定回転制御
作業中負荷がかかっても工具の回転が下がりにくく、回転を維持するので高い作業性が得られます。
- ・ ソフトスタート
スイッチをONにしたとき、反動を抑えスムーズに回転しはじめます。

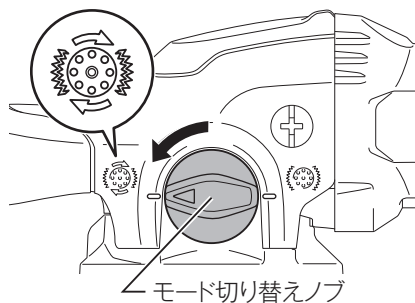
使い方

モードの切り替え

- ・ モード切り替えノブで2種類の回転駆動モードを選択できます。

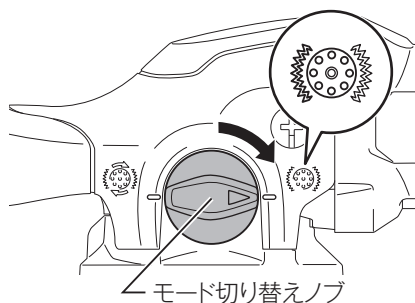
強制回転駆動モード

- ・ ポリッシング作業に適したモードです。



フリー回転駆動モード

- ・ つや出し作業に適したモードです。



注

- ・ 本機の駆動中は、モード切り替え操作はできません。

使い方

作業方法

⚠ 注意

- ・ 別販売品のスポンジパッド、フェルトパッド、ウールパッドを必ず取り付けてご使用ください。
- ・ 作業面に異常な熱を持たないように注意して行ってください。無理に強く押しつけて使用しないでください。
- ・ 作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- ・ 使用中は本機を両手で保持してください。
 - ・ パッドは、強制回転駆動モードでは反時計回りをしますが、フリー回転駆動モードでは時計回りをすることがあります。

表面仕上げ作業

- ・ 粗仕上げは、ウールパッドを使用して、最後にスポンジパッドで仕上げます。
推奨モード：強制回転駆動モード

ワックスがけ作業

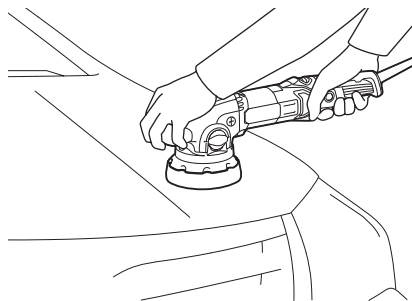
- ・ スポンジパッドを使用して、ワックスを塗布します。
推奨モード：フリー回転駆動モード

ワックス落とし作業

- ・ スポンジパッドを使用して、ワックスを拭き取ります。
推奨モード：フリー回転駆動モード

つや出し作業（ガラスなど）

- ・ フェルトパッドを使用して、つや出しをします。
推奨モード：フリー回転駆動モード



注

- ・ あらかじめ目立たない部分で使用し、キズやムラが発生しないことを確認してください。

別販売品の使い方

各種パッドの取り付け・取りはずし方

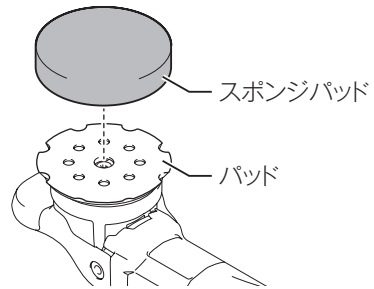
⚠ 警告

スポンジパッド、フェルトパッド、ウールパッドの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

1. パッドのマジックファスナ面のゴミ・ほこりなどを、よく払い落とします。
2. パッドとスポンジパッドの中心を合わせて貼り付けます。



イラストはスポンジパッドの取り付け例です。

取りはずし方

- ・ 取りはずす場合は、スポンジパッドの端をつかみ、パッドからはがしてください
- ・ フェルトパッド、ウールパッドもスポンジパッドと同様に取り付け・取りはずしを行います。

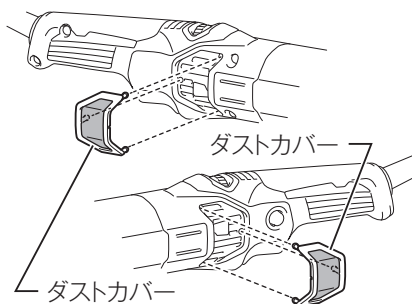
⚠ 警告

点検・整備の際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

ダストカバーの清掃

- ・ 使用後は両側のダストカバーをはずし、金網に付着したゴミやほこりを取り除いてください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882961A4
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)